

(別紙4(2))

事業所名 グループホームジョイア矢作

## 目標達成計画

作成日: 令和 5年 9月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	利用者様同士のトラブルが続いている。ご利用者様、家族様が安心して施設で生活できるよう解決策を探したい。	現在起こっているご利用者様間のトラブルを解決し、ご利用者様が安心して生活できる環境を作る。	カンファレンスを繰り返し、色々な方法を試みる。家族様、主治医にも報告、相談し、より良い方法を探していく。	12ヶ月
2	36	虐待に関する研修を全員受けているが、声掛けが不適切ではないかと感じる事がある。	ご利用者様の尊厳を傷つけない、適切な声掛けが全員ができるようになる。	不適切ケアについて考える機会を定期的に設ける。(月1回程度)	12ヶ月
3	2	コロナ禍前に関わりを持っていた方々との関係性が途切れてしまっている。地域の方との関わりを持ちやすくなっている為、再び関わりを持ちたい。	地域の方との関わりを増やす。	まずは以前付き合のあった方々に連絡をとる。引き続き感染予防には努めながら、関わりを増やしていく。同時に新しい関わりも増やしていけるよう情報収集し、地域の行事に参加していく。	12ヶ月
4	34	緊急時の対応マニュアルは作っているが、実践できるか疑問に思う。緊急時に各自が判断し動けるようになって頂きたい。	緊急時、管理者や副施設長がいなくても判断し動けるようになる。	緊急対応のシミュレーションを定期的に行う。(月1回程度)1年を通して、全員が2~3回は参加できるようにする。	12ヶ月
5	35	BCPを作っているが、BCPの通りに動ける状態にはないと感じている。職員全員が災害時にBCPをしっかりと運用できる必要がある。	主要な職員がBCPの中身を把握し、実践出来るようになる。	BCPの内容の周知。定期的に災害時のシミュレーションをできる機会を作る(2月に1回程度)	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。